

AED推進フォーラム2023（案）

「誰もが救命サポーター」という社会の実現に向けて —学校の役割—

日時：2023年12月6日（水）14時00分 開会

場所：一橋講堂

14時00分 開会

来賓・大使紹介

開会の辞 岡本 保 日本AED財団 会長

メッセージビデオ上映（school版）

14時20分 I. 学校での心臓突然死ゼロに向けた思い

座長：三田村秀雄 日本AED財団 理事長
松岡 康子 減らせ突然死プロジェクト実行委員
日本放送協会(NHK)名古屋放送局 記者
川崎 真弓
前重 奈緒
上野 愛美・貴寛

14時50分 II. 学校に求められる2つの役割／校内突然死ゼロと救命サポーターの育成

座長：桐淵 博 日本AED財団 理事
元 さいたま市教育委員会 教育長
西山 知佳 減らせ突然死プロジェクト実行委員
京都大学大学院医学系研究科クリティカルケア看護学分野 准教授

1. 危機管理のロールモデル ASUKAモデルを活かす

演者：さいたま市

2. DX教材の活用／motion captureで救命実技のセルフコーチング

演者：調整中

3. 学校から地域に広げる救命サポーター／AED GOとの連携

演者：奈良市

4. 大学入学時の一斉基礎救命講習が実地で役立った

演者：京都大学学生と救命された方

15時50分 休憩

16時05分 III. パネルディスカッション

「国民誰もが救命サポーター」を目指して・・・学校教育への期待

司会：石見 拓

日本AED財団 専務理事

京都大学大学院医学系研究科 予防医療学分野 教授

堀 潤

NPO法人8bit News 代表 / ジャーナリスト

パネリスト：

16時50分 IV. 功労賞授与式

17時15分 記念撮影

17時20分 閉会の辞 三田村秀雄 日本AED財団 理事長